



上小小だより

教育目標
◎ 心豊かな子
◎ 進んで学ぶ子
◎ 健康な子

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1
HP <https://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL:048-644-6251



教室からみた虹

開校記念日

校長 大島 恵美

過日の運動会では、延期につぐ延期となり、ご心配をおかけしました。予備日としていた3日もあいにくの雨となりましたが、翌4日にはようやく天候に恵まれ、子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。準備から当日まで、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、6月16日は、上小小学校の第51回開校記念日でした。当日は、赤飯や「かみこんコロッケ」などの“お祝い献立”で記念日を祝いました。

上小小学校は、昭和50年4月1日に大宮市立上小小学校として、三橋小学校の校舎の一部をお借りして開校しました。学区は「上小町・三橋3丁目・三橋4丁目の一部・桜木4丁目の一部」と、現在とほぼ同じです。当時は19学級で児童数は671名。本年度よりも170名多く、教室にはたくさんの子どもたちがいたことがうかがえます。

校舎は完成していたものの、体育館はなく、校庭もまだ整地されていませんでした。そのため始業式は4階の集会室で行われ、体育の授業もしばらくの間、集会室で行っていたそうです。さらに、当時は植木一本なかったため、地域の皆様やいずみ高校(旧・与野農工)から多くの木々を寄付していただいたと伝えられています。

6月16日が開校記念日となったのは、昭和50年6月16日に校章と校歌が制定されたことに由来しています。校章は、当時の大宮市のマークの中に「上小」の文字を組み込んだデザインで、当時の先生方により決定されたそうです。

校歌は、作詞を白鳥朝詠(しらとり・ちようえい)さん、作曲を市川昭介(いちかわ・しょうすけ)さんに依頼され、「子どもたちが歌いやすく、子どもたちの姿を表す歌を」とお願いしたとのことです。リズムがよく、つい口ずさみたくなる校歌は、まさにその思いが込められているように感じます。このお二人は、都はるみさんの「好きになった人」など、数々の名曲を手がけた昭和を代表する作詞・作曲家でもあります。校歌のお披露目は、当時の運動会で行われ、市川さんも来校されたとのことです。白鳥さんは当時、学区内にお住まいで、バザーなどでもご尽力いただいたそうです。(創立十周年記念誌参照)

あれから50年。上小小学校は、地域の皆様や保護者の皆様に支えられ、見守られながら、歴史と伝統を築いてきました。今ここに上小小学校があるのは、皆様のおかげだと心から感じています。素直でやさしい心をもった上小の子どもたちの姿は、今も変わりません。これからも、これまでのよき伝統を大切に受け継ぎながら、自分の夢を見つけ、その実現に向けて努力できる子どもたちを育ててまいります